

2007年10月

この会場で秋田国体の「バレーボール競技」が行われます。

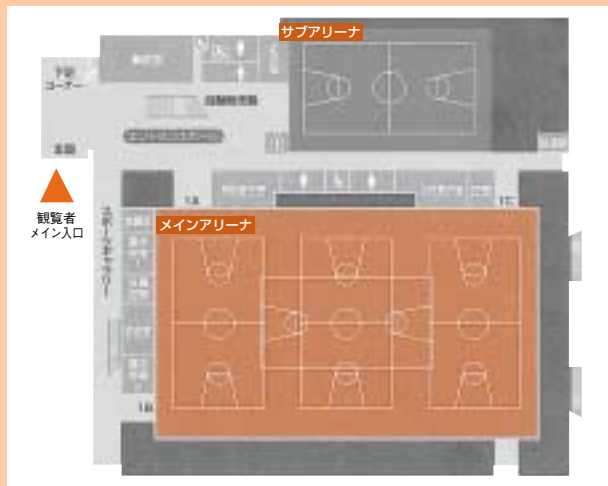


メインアリーナでは、バレーボールなどの公式戦が3面で出来ます。
このほかにサブアリーナでも1面、合計4面の試合が出来ます。

今年はリハーサル大会が行われました

9月2日(金)～4日(日)、樹海体育館では岡山国体への出場権をかけた成年男子・女子6人制の試合(秋田国体のリハーサル大会を兼ねた東北総体)が行われ、男子は岩手県、女子は山形県が優勝しました。秋田県チームは善戦しましたが、男子は予選で女子は決勝で敗れました。しかし、本番の秋田国体では、きっと良い結果を残してくれるでしょう。

●施設の概要



【メインアリーナ (38m×63m) 2,394㎡】

- ・バレーボール競技……………3面
- ・バスケットボール競技……………3面
- ・バドミントン競技……………12面
- ・卓球競技……………20面 等

【サブアリーナ (33m×20m) 660㎡】

- ・バレーボール競技……………1面
- ・バスケットボール競技……………1面
- ・バドミントン競技……………3面
- ・卓球競技……………6面 等

①「広いアリーナ」

樹海体育館のここがス「い」!

メインアリーナ入り口の通路から、やや重い扉を開け一歩中に足を踏み入れると、突然の明るい巨大な空間に驚かされます。誰もが思わずオーと声をあげ、見上げてしまうに違いありません。なにせフロアの長辺が63m、短辺で38m、天井までの高さは、一番高いところまで19mといえますから、これまでの体育館のイメージを持って入って来たかたは、巨大な空間の出現に目を丸くすること請け合いです。

このメインアリーナでは、バレーボール競技やバスケットボール競技のコートを3面作ることが出来ます。サブアリーナも合わせると、なんと4試合が同時に出来ることになりました。これは、ほとんどの大会が一回戦から決勝戦まで会場を分散せず、同一会場で行うことが出来るということですから、大会がスムーズに行われるだけでなく、会場から会場への移動がないことで、選手や応援の方々にも喜ばれることでしょう。

また、フロアはもろんのこと、秋田杉で構成された壁や観覧席の木製の座席が、木で囲まれたような明るく優しい雰囲気を作っていて、多くのかたに好感が持たれると思います。